

予防的なセキュアファイアウォールの取り組みについて

はじめに

このドキュメントでは、Proactive Secure Firewall Engagements Programについて説明します。

バックグラウンド情報

潜在的な問題には、修復の優先度の指標となる重大度が割り当てられています。しかし、最も深刻な問題でも、認識されている問題がなければ解決しないことが多いことがわかりました。

このプログラムの目的は、以前より大きな問題に次々と重なっていくと考えられてきた問題を、発生時に対処できるようにすることです。これは、潜在的な問題の一部を監視し、関連する次のステップのドキュメントを使用して予防的サービスリクエストによってそれらの問題にフラグを付けて対処します。

チャネルの監視

Cisco Support Diagnosticsによる

Cisco Support Diagnosticsを使用すると、お客様のデバイスから重要な情報を収集し、サポートを強化できます。シスコは、お客様のデバイスから設定と稼働状況に関するデータを定期的に収集し、自動化された問題検出システムを使用してこのデータを処理し、問題を事前に通知します。

監視が過剰な問題が検出されると、検出された問題と、それらに対処するための次のステップを記載したプロアクティブSRが代わりに提出されます。

SRに付随するトラブルシューティングによるオフライン

Secure Firewall TAC SRをオープンし、関連するトラブルシューティングを添付した場合、トラブルシューティングは既知の問題について再分析されました。監視が過剰な状態が見つかった場

合は、検出された問題と次の対応手順に基づいて、お客様に代わってプロアクティブなSRがオープンされます。

予防的なサービスリクエストの作成の無効化

このプログラムに関連付けられた予防的なサービスリクエストの作成を無効にするには、シスコサポート診断オプションを無効にします。

[シスコサポート診断の有効化/無効化](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。